■現行計画(H30改訂版)の体系 ※計画期間H30~R8

施策の方向性 主な施策 優れた美術、音楽、演劇などを文化施設で鑑賞する機会の充実 ・ふるさと文学に親しみ・学ぶ環境づくりの推進 身近なところで優れた文化を 鑑賞する機会の充実 ・巡回展示や出前公演等による鑑賞機会の充実 ・最新の情報通信技術を使った鑑賞の充実 ・美術、音楽、演劇などの練習の場の確保 文 ・指導者の確保と養成 化 文化の創造への支援 ・発表の場・批評の場の確保 活 ・ふるさと文学を深く調べる・発表する・創作への刺激とも 動 なる場の確保 **ത** ・双方向の芸術文化体験と交流の機会の充実 幅 文化を通じた交流・文化活動 広 ・支援する人々との協働の促進 い への参加の拡大 ・県民の文化活動への参画の促進 県 高齢者、障害者等の文化活動の充実 民 の ・青少年の芸術鑑賞、体験事業の充実 参 ・青少年の創作活動への支援と発表機会の拡充 加 ・子どもたちの国内外との交流の充実 次世代を担う子どもたち、青 ・学校教育における文化活動の充実と地域の文化活動への理解の促進 少年の文化活動の充実 ・ふるさと教育の推進 ・若い世代の文学活動の振興 ・伝統文化への参加と体験の機会の確保 若手芸術家の育成 ・演劇の聖地にふさわしい舞台芸術空間づくり アジアを代表する舞台芸術の ・シアター・オリンピックスをはじめとした世界水準の演劇祭の開催など 拠点づくり による舞台芸術の発信 質 ・アジア諸国の舞台芸術機関との連携による共同制作・人材育成事業の充実 の 高 アートとデザインをつなぐ場の創出 い 特色ある国際的な文化振興事 ・世界ポスタートリエンナーレトヤマなどの国際事業の開催 文 業の展開と発信 ・国際イベントの開催など工芸(KOGEI)の魅力の世界への発信 化 の ・とやま世界こども舞台芸術祭等芸術団体等による創造と発信の推進 創 ・立山の自然や立山信仰の精神世界の紹介と魅力の発信 造 ・世界文化遺産の保存・継承と新たな登録をめざした取組み 世 ・ふるさと文学の振興と発信 界 ふるさとの歴史・文化の再発 ・むぎや、こきりこ、おわらなど貴重な伝統文化の発掘と発信 見と発信 伝統文化・伝統芸能の後継者育成 **ത** ・地域の個性を活かした景観づくり 発 ・富山の魅力を知る・学ぶ機会づくり 情報通信等技術を活用した文 J・ⅠCTやVR技術等を活用した体感型の情報発信 化の創造と発信 ・新しいメディア等を活用した文化の発信 文化を活かした観光の振興 文化振興と観光振興 ・文化施設や文化財等を拠点とした観光の活性化 文 化 ・地域の文化資源を活かしたにぎわいづくりの促進 文化を活かしたまちづくり・ ح ・歴史と文化を活かしたまちづくりの推進 地域づくり 他 ふるさと文学の振興とまちづくり 分 ・国内外の文化的多様性にあふれたまちづくりの推進 野 の 豊かな食の磨き上げとブランド ・地域と連携した豊かな食の磨き上げ・発信 連 イメージの向上 ・食や食文化のブランドイメージの向上・定着 ・文化力を活かした伝統産業・クリエイティブ産業の振興 文化力を活かした産業の振興 文化力を活かしたものづくり産業の高付加価値化